



その他の注意点

○ 哺乳ロボット電磁弁の汚れ

哺乳ロボットは自動洗浄機能を有しますが、機械とチューブの結合部の電磁弁は洗浄されず汚れが付着しています。当所の検査で電磁弁一個当たり 10^{10} 個レベルの細菌汚染が確認されました。月に一回は洗浄しましょう。

○ 乳首の不適合

黒毛和種子牛は生まれた時の体重差が大きく、乳首の不適合による誤嚥がしばしば見られます。子牛をよく観察し、不適合の場合は哺乳ロボットの利用を中止しましょう。



台湾における口蹄疫の発生について



本年2月、台湾の2農場で豚の口蹄疫が発生しました。台湾での本病の発生は、2001年2月以来となります。

対策として、感染豚31頭を含む677頭の淘汰、発生農場周辺の75農場の消毒及び両地域で飼養される豚36,450頭へのワクチン接種が実施されています。また、発生農場から半径3km以内に含まれる農場のサーベイランスが終了し、感染豚は確認されていません。

本病は、法定伝染病・海外悪性伝染病に指定され、伝染性が強い。牛・豚を含む全ての偶蹄類に感受性があります。本県では、花巻空港での靴底消毒を実施するなど、本病の侵入防止対策を実施していますが、飼養者の皆さんも、以下についてご協力願います。

- 飼養衛生管理基準の徹底により畜舎への侵入を防止する。
- 食物残渣を与える場合は、しっかりと加熱処理する。
- 畜産関係者は、台湾を含む発生国への渡航をできるだけ控え、やむを得ず訪問する際は、畜産農場への立ち入りは避け、関係物品を国内へ持ち込まない。
- 発熱・大量の流涎（よだれ）、口・鼻・蹄に水泡を形成、といった症状が認められた場合、獣医師または当所までご連絡下さい。

